令和4年度 福祉職場への就職希望者意向調査 報告書

令和5年3月

社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福島県福祉人材センター

はじめに

我が国の労働人口が減少する中、福祉・介護人材の確保は一層困難な状況となっております。

本県においても、福祉・介護人材の確保は喫緊の課題となっており、新卒者はも とより中高年者、就業していない女性、他業種に就業していた方など多様な人材が 参入できるよう人材確保対策が進められているところです。

このような状況を踏まえ、本会では、福祉・介護分野への就労を希望する求職登録者の考え方、就職活動の状況等を把握するため本調査を実施するとともに、平成26年度及び30年度の同調査との比較も入れた報告書を作成いたしました。

今後は、この調査結果をもとに本会の無料職業紹介事業や、求人事業所側の理解 促進、求人開拓等に役立てていきたいと考えております。

最後に、お忙しい中本調査にご協力いただきました求職登録者の方々に御礼申し上げますとともに、今後とも関係者の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年3月

社会福祉法人福島県社会福祉協議会

一 目次 一

Ι	調	査の概要1
П	調	査結果のまとめ2
Ш	調	查結果5
Ħ	引 1	性別について 5
Ħ	男 2	満年齢について 6
Ħ	引 3	居住地について7
F	男 4	就労状況について9
F	男 5	福祉分野における勤務経験について11
F	周 6	求職活動の理由について13
Ī	图 7	福祉の仕事への興味について15
Ī	图 8	福祉分野での就職に関心を持った理由について17
F	男 9	就職先を選ぶ上で重視することについて19
F	男 10	希望する分野について 21
Ħ	周 11	希望する雇用形態について 23
Ħ	男 12	希望する勤務形態について 25
F	男 13	希望する通勤時間について 27
F	男 14	希望する賃金・月収について29
F	周 15	就職活動の方法について 31
Ħ	周 16	就職活動で困っていることについて33
Ħ	图 17	福祉人材センターを知ったきっかけについて
Ħ	周 18	福祉人材センターからの求人情報の取得方法について37
Ħ	周 19	福祉人材センターのサービスに求めるものについて
F	男 20	福祉人材センターへの意見・要望について41
IV	過:	去の調査との比較結果44
V	会制	和 4 度「福祉職場への就職希望者意向調査」調査票47

I 調査の概要

1. 調査の目的

少子高齢化の進行により、福祉・介護サービスの利用ニーズは増加している状況にあり、福祉の職場ではサービスを提供する人材の確保が課題となっています。

そこで、福祉の職場への就職を希望する方々を対象に、就職にあたっての意向・就職活動の状況等を把握し、今後の求職相談、求人側の理解促進、求人開拓等に繋げていくことを目的に実施します。

2. 実施主体 社会福祉法人福島県社会福祉協議会(福島県委託事業)

3. 調査対象

- (1)福島県福祉人材センターに登録している求職登録者 (令和4年4月1日~令和4年12月28日までの期間に求職登録した方)
- (2)調査期間中の「福祉の仕事就労支援セミナー」受講者等

6. 調査方法

調査票による郵送及び窓口配布によるアンケート調査とします。

- (1)福祉人材センターから調査票を求職登録者(令和4年4月1日~現在)に送付し、 回答した調査票を返信用封筒に入れ福祉人材センター宛送付。
- (2)調査期間中(令和4年12月1日~令和4年12月28日)に「福祉の仕事就労支援セミナー」を受講した方に調査票を配布し、回答した調査票を返信用封筒に入れ福祉人材センター宛送付。
- (3)調査期間中(令和4年12月1日~令和4年12月28日)本センターで就職相談をされた方に調査票を配布し、回答した調査票を返信用封筒に入れ福祉人材センター宛送付。

7. 調査票回収状況

別紙調査票のとおり

8. 調査票回収状況

対象者数 : 492名 有効回収数:157件 回収率 : 31.9%

Ⅱ 調査結果のまとめ(平成26年度・平成30年度調査結果比較含む)

1. 登録者の状況について(過去の調査結果との比較は 44 ページ~46 ページ)

(1) 性別・年齢・居住地(5ページ~8ページ)

性別は、回答者全体の約7割を「女性」が占めており、過去の調査と同様の結果となった。 回答者の年齢をみると、「60代」が28.0%、「50代」が27.4%、「40代」が19.7%となっており、40歳以上が合わせて80.9%と割合が高い。平成30年度と比較して20代以下の割合が増えているが、全体としては60代以上のシニア層の割合が増えている傾向がみられる。

居住地では、「県北」「県中」が合わせて約6割となっている。

(2) 現在の就労状況及び勤務経験・希望分野(9ページ~12ページ、21ページ)

回答者の 56.7%が現在「無職」であり、正規・非正規を問わず「福祉の職場に勤務している」 割合は約 3 割となっている。「無職」の方の割合は、女性と比較して男性で高い。年齢別でみると、40 代以外では5割を超えているが、40 代では35.5%と低く、他の年代と比較していずれかで勤務している割合が高くなっている。

福祉職場の勤務経験については、約5割が「勤務経験あり」となっている。「勤務経験あり」の割合は70歳以上で最も高く、20代以下と60代で低くなっている。

希望する分野では、「高齢者福祉施設」と回答した割合(47.1%)が最も高く、ついで「不問」(17.2%)、「障がい者福祉施設」(9.6%)の順であった。

(3) 希望雇用形態及び通勤時間(23ページ~28ページ)

希望する雇用形態は、「非常勤職員(パート等)」(40.8%)の割合が最も高く、「正規職員」は 28.0%と、過去の調査と比較すると「非常勤職員(パート等)」を希望する割合が高くなり、「正規職員」を希望する割合が減ってきている。「非常勤職員(パート等)」を希望するのは、男性よりも女性で割合が高く、年齢が高くなるほど、「非常勤職員(パート等)」を希望する割合が高くなる傾向がみられる。

また、「勤務形態に夜勤・宿直がある場合の対応は」という問いに対し、約 6 割が「不可」と 回答している。「不可」と回答している人の割合は、男性よりも女性で高くなっている。

希望する(許容できる)通勤時間については「15分~30分未満」が6割以上を占めた。「30分~1時間未満」までの1時間以内を合わせると95.5%を占める。30分未満の短時間を希望する人の割合は年齢が高くなるほど割合が高くなっている。

過去の調査と比較して、シニア層の登録者が増えてきていることもあり、短時間を 希望する人の割合も増えてきている。

(4) 希望賃金・月収(29ページ)

「5 万円~10 万円未満」の割合が最も高かった(27.4%)。「非常勤職員(パート等)」を希望しているシニア層の割合が増えていることが原因と推測される。

2. 求職活動と福祉の仕事に対する意識について

(1) 求職活動している(いた)理由(13ページ)

「雇用・契約期間満了」(22.3%)、「労働条件(給与・待遇含む)が不満」(19.7%)、「職場の人間関係が不満」(15.3%)、「早期退職」(12.1%)、「仕事内容が不満」(10.8%)の順に割合が高かった。

年代別にみると、30代、40代では「労働条件(給与・待遇含む)が不満」の割合が最も高く、50代では、「早期退職」、60代、70歳以上では「雇用・契約期間満了」が最も高い割合となっている。

(2) 福祉の仕事への興味(15ページ)

福祉の仕事への興味を 5 段階の数字で聞いたところ、最も興味がある「5」と回答した割合が最も高かった。「3」以上の回答を合わせると約 93.6%となっている。

(3) 福祉分野での就職に関心を持った理由(17ページ)

「人や社会に役立つ仕事がしたい」の割合(48.4%)が最も高い。ついで「これからの時代に必要な仕事である」(35.0%)、「やりがいのある仕事である」(31.2%)といった、仕事の意義ややりがいを重視し福祉分野への就労を希望していることがわかる。

年代別でみると、20代以下、30代、50代、60代で「人や社会に役立つ仕事がしたい」の割合が最も高かった。20代以下は「やりがいがある仕事である」も同率で高く、40代では「やりがいがある仕事である」の割合が最も高い。70歳以上では「資格・技能を生かせる」の割合が最も高くなっている。

(4) 就職先を選ぶ上で重視する事柄(19ページ)

「通勤距離・通勤の便利さ」の割合が 52.9%で最も高く、ついで「職場の人間関係や雰囲気」(51.6%)、「賃金・賞与額」(47.8%)、「勤務日数・労働時間」、「仕事の内容」(いずれも45.2%)の順となった。待遇等の労働条件だけではなく、働きやすさに関する項目が高い割合を示している。

(5) 現在の就職活動(31ページ)

「ハローワークの利用」が 75.8%と最も割合が高く、ついで「福祉人材センターの利用」 (45.9%)、「求人情報誌や新聞・広告の利用」(32.5%)、「インターネットの就職支援サイトの利用」(29.3%)の順となっている。

(6) 求職登録者が就職活動にあたり困っている点(33ページ)

「年齢制限」(29.9%)が最も多く、次に「希望にあう勤務形態(勤務時間・休日等)が少ない」(27.4%)となっている。

シニア層の割合が増えていることで、「年齢制限」の割合が高くなっているが、30代~50代では、「希望にあう勤務形態(勤務時間・休日等)が少ない」の割合が最も高くなっている。

3. 福祉人材センターの利用について

(1) 福祉人材センターを知ったきっかけ(35ページ)

福祉人材センターを知ったきっかけは、「ハローワークからの紹介」の割合(53.5%)が最も高い。主な理由としては、県内各地のハローワークと連携したセミナーや相談会等を実施していることで、求職者に福祉人材センターの存在が浸透してきていることが考えられる。

(2) 福祉人材センターにおける求人情報取得方法(37ページ)

福祉人材センターにおける求人情報の取得方法については、本会から求職者に「月 2 回送付する求人情報(印刷物)のみ」の割合が約 5 割と最も高かった。一方、インターネットでのみ情報を取得している方の割合は約 2 割となっているが、50 代以下では併用を含めインターネットを利用している割合が 5 割以上を占めている。

(3) 福祉人材センターのサービスとして求めるもの(39ページ)

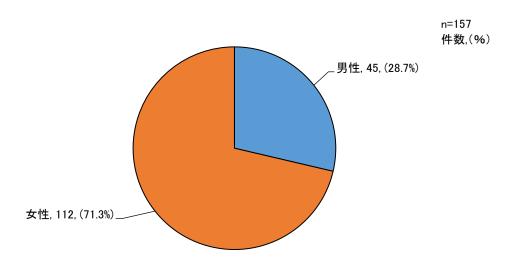
福祉人材センターのサービスとして求めるものは、「求人情報の送付」の割合が 44.6%、「施設・事業所(職場環境等)についての情報提供」が 43.9%と割合が高くなっている。

男性は「求人情報の送付」、「個別の就職支援(マッチング)」、「就職説明会などのイベントの案内」の順に割合が高く、女性は「施設・事業所(職場環境等)についての情報提供」、「求人情報の送付」、「職場見学会や職場体験の実施」の順に割合が高くなっている。女性は男性と比較して、働く職場を具体的に知ることができるものを求めている割合が高くなっている。

調査結果 ${ m I\hspace{-.1em}I\hspace{-.1em}I}$

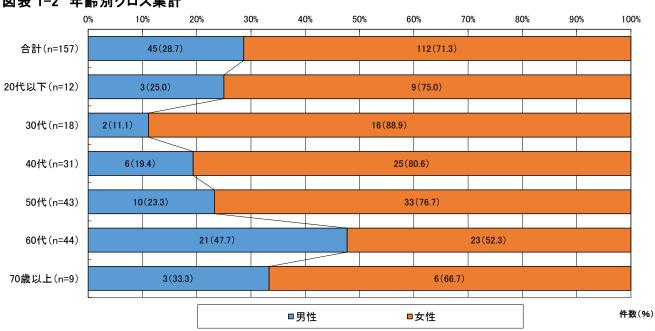
問 1 あなたの「性別」は?(Oは1つ)

図表 1-1 単純集計



調査対象者の性別については「女性」が 71.3%と高い比率となった。

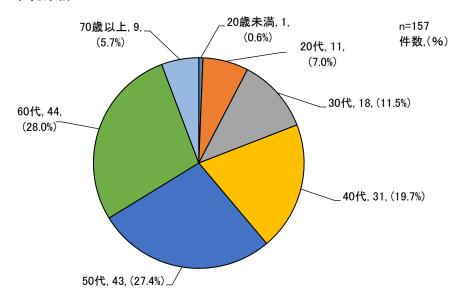
図表 1-2 年齢別クロス集計



調査対象者の性別について年齢別にみると、すべての年齢で「女性」の割合が 50%以上となり、特に 「30代」では88.9%と高かった。

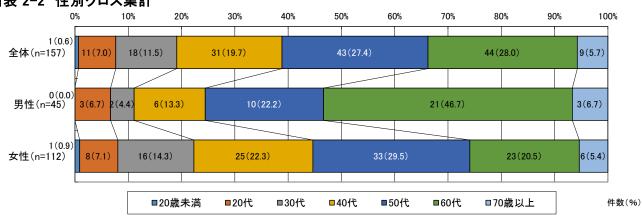
問 2 あなたの「満年齢」は?(令和 4 年 12 月 1 日現在/○は1つ)

図表 2-1 単純集計



対象者の年齢については、「60 代」が 28.0%、ついで「50 代」が 27.4%、「40 代」が 19.7%と高い割合を示した。また、40 代以上の登録者が合わせて 80.9%と高い割合となっている。

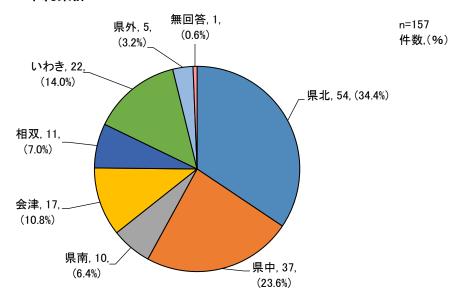
図表 2-2 性別クロス集計



年齢を男女別でみると、男性では「60代」の割合が 46.7%と高く、半数近くを占めている。女性では「50代」の割合が最も高く、ついで「40代」であった。

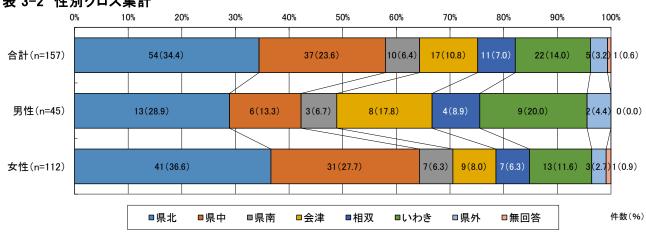
問3 あなたが現在住んでいる「地域」は?(〇は1つ)

図表 3-1 単純集計



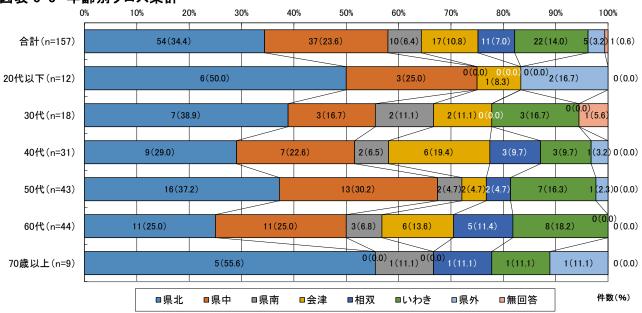
居住地域については「県北」の割合が最も高く34.4%、ついで「県中」が23.6%、「いわき」の14.0%とな った。

図表 3-2 性別クロス集計



居住地域を男女別にみると、男女ともに「県北」の割合が高くなっている。

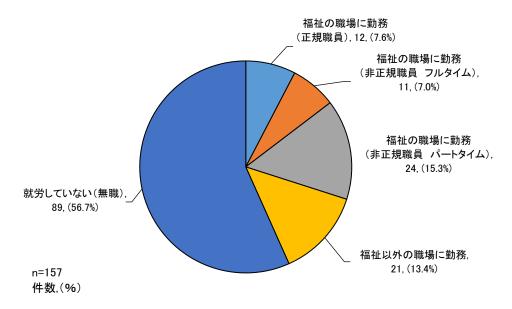
図表 3-3 年齢別クロス集計



居住地域を年代別にみると、70歳以上を除き、すべての年代で「県北」、「県中」の割合が高い。70歳以上では「県北」の割合が高く半数を超えている。

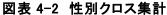
問 4 あなたの現在の就労状況は?(Oは1つ)

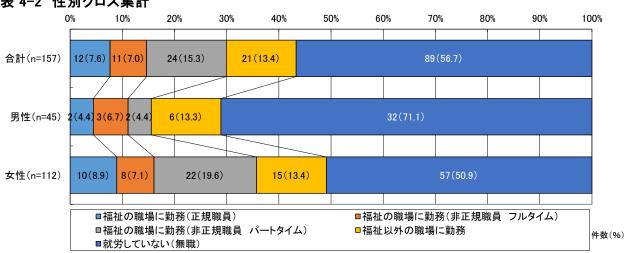
図表 4-1 単純集計



対象者の現在の就労状況については、「就労していない(無職)」の割合が 56.7%と最も高く、ついで「福祉の職場に勤務(非正規 パートタイム)」が 15.3%となっている。

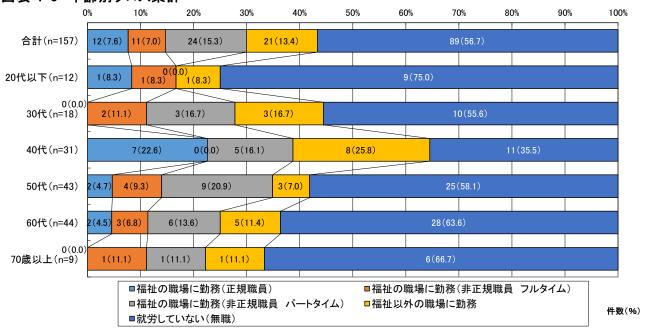
正規職員で「福祉の職場に勤務」している割合は、7.6%であった。





現在の就労状況を男女別にみると、女性は男性と比較して、「就労していない(無職)」の割合が低く、いずれかで勤務している割合が高くなっている。

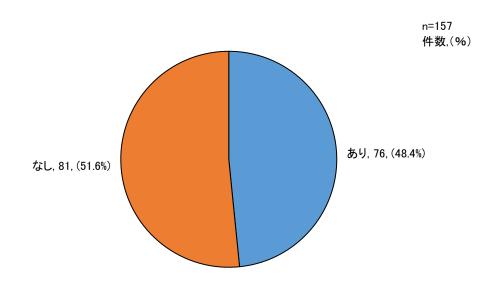
図表 4-3 年齢別クロス集計



現在の就労状況を年代別にみると、「就労していない(無職)」の割合は、40代以外では5割を超えているが、40代では35.5%と低く、他の年代と比較していずれかで勤務している割合が高くなっている。

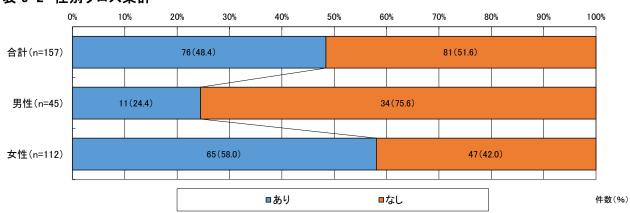
問5 福祉分野における勤務経験は?(Oは1つ)

図表 5-1 単純集計



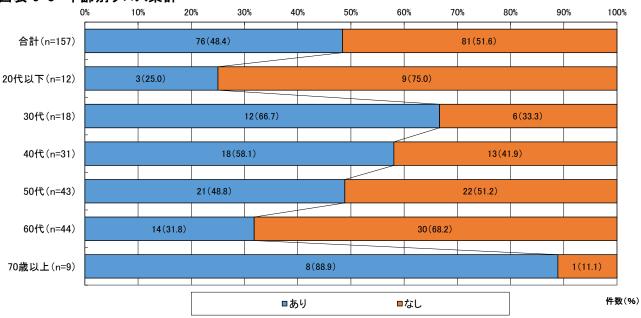
福祉分野における勤務経験については、「経験あり」が48.4%、「経験なし」が51.6%となった。

図表 5-2 性別クロス集計



福祉分野の勤務経験を男女別でみると、男性のほうが福祉分野での勤務経験のない方の割合が高かった。

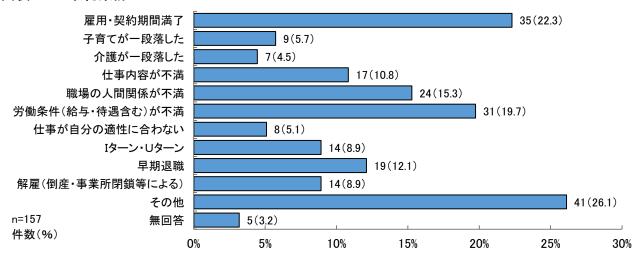
図表 5-3 年齢別クロス集計



福祉分野の勤務経験を年代別でみると、「経験あり」の割合は70歳以上で最も高く、20代以下と60代で低くなっている。

問6 求職活動をしている(いた)理由は?(〇は3つまで)

図表 6-1 単純集計



求職活動している(いた)理由を尋ねたところ、「その他」割合が最も高く、ついで「雇用・契約期間満了」、「労働条件(給与・待遇含む)が不満」、「職場の人間関係が不満」、「早期退職」、「仕事内容が不満」となった。「その他」の主な理由としては、「夫の転勤のため」、「転居により通勤が困難になった為」、「資格を取得し、資格を生かした職業に就くため」、「介護に興味あり」、「新卒就職」などがあげられた。

図表 6-2 性別クロス集計〈最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■〉

上段:度数下段:%	合計	雇用·契約 期間満了	子育てが一段落した			職場の人間関係が不満		仕事が 自分の適性 に合わない	I ターン・ Uターン	早期退職	解雇·倒産 ・事業所 閉鎖等	その他	無回答
合計	157	35	9	7	17	24	31	8	14	19	14	41	5
	100.0	22.3	5.7	4.5	10.8	15.3	19.7	5.1	8.9	12.1	8.9	26.1	3.2
男性	45	13	0	0	2	5	6	4	7	9	6	11	2
	100.0	28.9	0.0	0.0	4.4	11.1	13.3	8.9	15.6	20.0	13.3	24.4	4.4
女性	112	22	9	7	15	19	25	4	7	10	8	30	3
女性	100.0	19.6	8.0	6.3	13.4	17.0	22.3	3.6	6.3	8.9	7.1	26.8	2.7

求職活動している理由を男女別でみると、「その他」を除き、男性では、「雇用・契約期間満了」、女性では「労働条件(給与・待遇含む)が不満」の割合が最も高かった。ついで、男性では「労働条件(給与・待遇含む)が不満」、女性では、「雇用・契約期間満了」が高く、男女ともこの2つが大きな理由となっている。

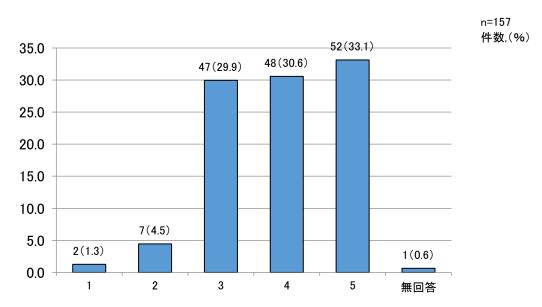
図表 6-3 年齢別クロス集計〈最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■〉

上段:度数 下段:%	合計	雇用·契約 期間満了	子育てが一段落した	介護が 一段落した	仕事内容が 不満	職場の人間関係が不満	労働条件 (給与・待 遇含む) が不満	仕事が 自分の適性 に合わない	I ターン・ Uターン	早期退職	解雇·倒産 ·事業所 閉鎖等	その他	無回答
合計	157	35	9	7	17	24	31	8	14	19	14	41	5
ㅁ히	100.0	22.3	5.7	4.5	10.8	15.3	19.7	5.1	8.9	12.1	8.9	26.1	3.2
20代以下	12	1	0	1	0	0	2	0	1	0	0	7	1
2010以下	100.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	58.3	8.3
204	18	5	5	0	2	4	6	1	1	0	2	3	1
30代	100.0	27.8	27.8	0.0	11.1	22.2	33.3	5.6	5.6	0.0	11.1	16.7	5.6
40代	31	3	3	1	7	9	11	0	2	0	4	9	1
4011	100.0	9.7	9.7	3.2	22.6	29.0	35.5	0.0	6.5	0.0	12.9	29.0	3.2
F0/4	43	3	1	2	6	7	9	7	4	11	6	8	0
50代	100.0	7.0	2.3	4.7	14.0	16.3	20.9	16.3	9.3	25.6	14.0	18.6	0.0
60代	44	18	0	2	2	4	2	0	3	8	2	11	2
7100	100.0	40.9	0.0	4.5	4.5	9.1	4.5	0.0	6.8	18.2	4.5	25.0	4.5
70歳以上	9	5	0	1	0	0	1	0	3	0	0	3	0
/ U成以上	100.0	55.6	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0

求職活動している理由を年代別にみると、30代、40代では「労働条件(給与・待遇含む)が不満」の割合が最も高く、50代では、「早期退職」、60代、70歳以上では「雇用・契約期間満了」が最も高い割合となっている。

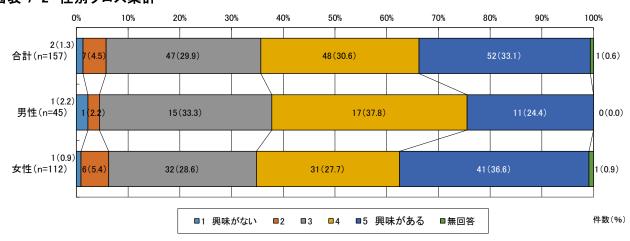
問7 福祉の仕事への興味はどの程度あるか?(当てはまる番号に〇)

図表 7-1 単純集計



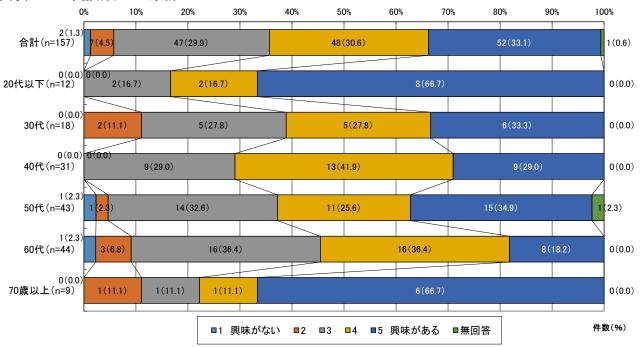
福祉の仕事への興味を 5 段階の数字で聞いたところ、最も興味がある「5」の割合が 33.1%と最も高かった。ついで「4」、「3」の順で高く、「3」以上の回答を合わせると 93.6%となっている。興味がないという「2」、「1」は「3」以上と比較して大幅に低かった。

図表 7-2 性別クロス集計



女性は「5」が最も高く、男性は「4」が最も高かった。男女とも「2」、「1」の割合は低い。

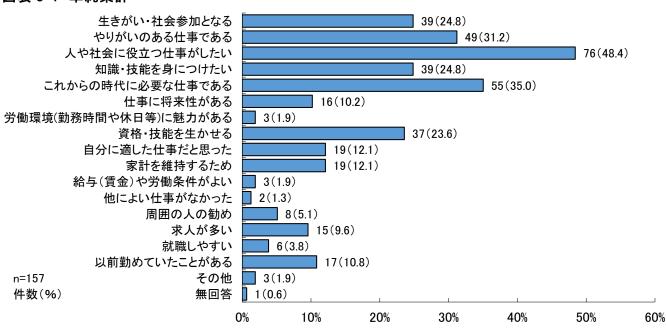
図表 7-3 年齢別クロス集計



「5」の割合は 20 代以下と 70 歳以上で高く、3 人に 1 人の割合となっている。 30 代と 50 代も「5」の割合 が最も高くなっているが、 40 代と 60 代では、「4」の割合が最も高くなっている。

問8 福祉分野での就職に関心を持った理由は?(〇は3つまで)

図表 8-1 単純集計



福祉分野での就職を希望する理由として、「人や社会に役立つ仕事がしたい」という割合が最も高く、ついで「これからの時代に必要な仕事である」、「やりがいのある仕事である」となった。

一方、「給与(賃金)や労働条件がよい」からとの理由は少ない結果となった。

図表 8-2 性別クロス集計〈最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■〉

上段:度数 下段:%	合計	生きがい・ 社会参加 となる	やりがいの ある仕事 である	人や社会に 役立つ仕事 がしたい	知識・技能 を身につけ たい	これからの 時代に 必要な仕事 である	仕事に将来 性がある	労働環境 (勤務時間や 休日等) に魅力がある	生かせる	自分に 適した仕事 だと思った	家計を 維持するため
合計	157	39	49	76	39	55	16	3	37	19	19
	100.0	24.8	31.2	48.4	24.8	35.0	10.2	1.9	23.6	12.1	12.1
男性	45	16	12	22	12	17	5	1	5	4	3
为压	100.0	35.6	26.7	48.9	26.7	37.8	11.1	2.2	11.1	8.9	6.7
女性	112	23	37	54	27	38	11	2	32	15	16
A III	100.0	20.5	33.0	48.2	24.1	33.9	9.8	1.8	28.6	13.4	14.3

上段:度数下段:%	給与 (賃金) や 労働条件 がよい	他によい 仕事が なかった	周囲の人の勧め	求人が多い	就職しやすい	以前勤めて いたことが ある	その他	無回答
合計	3	2	8	15	6	17	3	1
口司	1.9	1.3	5.1	9.6	3.8	10.8	1.9	0.6
男性	1	0	1	4	3	3	1	0
五注	2.2	0.0	2.2	8.9	6.7	6.7	2.2	0.0
女性	2	2	7	11	3	14	2	1
女注	1.8	1.8	6.3	9.8	2.7	12.5	1.8	0.9

福祉分野での就職を希望する理由を男女別でみると、男女ともに「人や社会に役立つ仕事がしたい」の割合が最も高く、ついで「これからの時代に必要な仕事である」の割合が高かった。

図表 8-3 年齢別クロス集計〈最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■〉

上段:度数下段:%	合計	生きがい・ 社会参加 となる	やりがいの ある仕事 である	人や社会に 役立つ仕事 がしたい	知識・技能 を身につけ たい	これからの 時代に 必要な仕事 である	仕事に将来性がある	労働環境 (勤務時間や 休日等) に魅力がある	資格・技能を 生かせる	自分に 適した仕事 だと思った	家計を維持するため
合計	157	39	49	76	39	55	16	3	37	19	19
	100.0	24.8	31.2	48.4	24.8	35.0	10.2	1.9	23.6	12.1	12.1
20代以下	12	2	6	6	2	5	3	0	1	1	1
2010001	100.0	16.7	50.0	50.0	16.7	41.7	25.0	0.0	8.3	8.3	8.3
30代	18	5	8	9	5	4	4	0	3	2	1
3014	100.0	27.8	44.4	50.0	27.8	22.2	22.2	0.0	16.7	11.1	5.6
40代	31	5	16	14	9	14	3	0	7	4	2
4010	100.0	16.1	51.6	45.2	29.0	45.2	9.7	0.0	22.6	12.9	6.5
50代	43	10	11	25	13	14	2	2	12	6	5
3017	100.0	23.3	25.6	58.1	30.2	32.6	4.7	4.7	27.9	14.0	11.6
60代	44	14	6	18	9	18	4	1	9	4	7
0017	100.0	31.8	13.6	40.9	20.5	40.9	9.1	2.3	20.5	9.1	15.9
70歳以上	9	3	2	4	1	0	0	0	5	2	3
70脉以上	100.0	33.3	22.2	44.4	11.1	0.0	0.0	0.0	55.6	22.2	33.3

上段:度数下段:%	給与 (賃金) や 労働条件 がよい	他によい 仕事が なかった	周囲の人の勧め	求人が多い	就職しやすい	以前勤めて いたことが ある	その他	無回答
合計	3	2	8	15	6	17	3	1
	1.9	1.3	5.1	9.6	3.8	10.8	1.9	0.6
20代以下	0	0	3	0	0	0	0	0
2017以下	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1	0	0	2	0	2	0	1
30代	5.6	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	5.6
40代	0	0	3	1	0	5	0	0
4016	0.0	0.0	9.7	3.2	0.0	16.1	0.0	0.0
50代	2	1	1	6	1	2	1	0
5017	4.7	2.3	2.3	14.0	2.3	4.7	2.3	0.0
60#	0	1	1	5	4	4	2	0
60代	0.0	2.3	2.3	11.4	9.1	9.1	4.5	0.0
70-51/1 L	0	0	0	1	1	4	0	0
70歳以上	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	44.4	0.0	0.0

福祉分野での就職を希望する理由を年代別でみると、20代以下、30代、50代、60代で「人や社会に役立つ仕事がしたい」の割合が最も高かった。20代以下は「やりがいがある仕事である」も同率で高く、40代では「やりがいがある仕事である」の割合が最も高い。70歳以上では「資格・技能を生かせる」の割合が最も高くなっている。

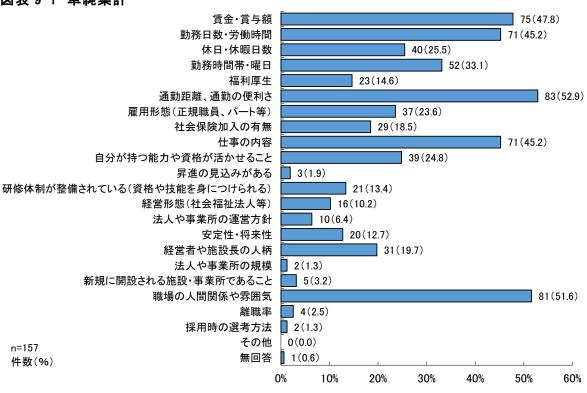
問 9 就職先を選ぶ上で「重視」することは?(○は5つまで)

図表 9-1 単純集計

12.5

6.3

3.6



就職先を選ぶ上で「重視」することについては、「通勤距離・通勤の便利さ」の割合が最も高く、ついで「職場の人間関係や雰囲気」、「賃金・賞与額」、「勤務日数・労働時間」、「仕事の内容」の順となった。

図表 9-2 性別クロス集計〈最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■〉

上段:度数 下段:%	合計	賃金・ 賞与額	勤務日数・ 労働時間	休日・ 休暇日数	勤務時間 帯・曜日	福利厚生	通勤距離、 通勤の 便利さ	雇用形態 (正規職 員、パート 等)	社会保険加 入の有無	仕事の内容	自分が持つ 能力や資格 が活かせる こと	昇進の 見込み がある
合計	157	75	71	40	52	23	83	37	29	71	39	3
一百日	100.0	47.8	45.2	25.5	33.1	14.6	52.9	23.6	18.5	45.2	24.8	1.9
男性	45	19	23	11	12	7	18	8	7	14	12	0
力圧	100.0	42.2	51.1	24.4	26.7	15.6	40.0	17.8	15.6	31.1	26.7	0.0
女性	112	56	48	29	40	16	65	29	22	57	27	3
女注	100.0	50.0	42.9	25.9	35.7	14.3	58.0	25.9	19.6	50.9	24.1	2.7
上段:度数 下段:%	研修体制が 整備されてい る(資格や 技能を身に つけられる)	経営形態 (社会福祉 法人等)	法人や 事業所の 運営方針	安定性• 将来性	経営者や 施設長の 人柄	法人や 事業所の規 模	新規に開設 される施設 ・事業所 であること	職場の 人間関係や 雰囲気	離職率	採用時の 選考方法	その他	無回答
合計	21	16	10	20	31	2	5	81	4	2	0	1
一直	13.4	10.2	6.4	12.7	19.7	1.3	3.2	51.6	2.5	1.3	0.0	0.6
	7	9	6	8	12	0	2	16	2	2	0	0
田州		-		_								
男性	15.6	20.0	13.3	17.8	26.7	0.0	4.4	35.6	4.4	4.4	0.0	0.0
男性	15.6 14	20.0	13.3	17.8 12	26.7 19		4.4 3	35.6 65	4.4	4.4 0	0.0	0.0

就職先を選ぶ上で「重視」することを男女別にみると、女性は「職場の人間関係や雰囲気」の割合が最も高く、男性は「勤務日数・労働時間」の割合が最も高くなっている。

10.7 17.0

1.8 2.7 58.0

1.8

0.0

0.0

0.9

図表 9-3 年齢別クロス集計〈最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■〉

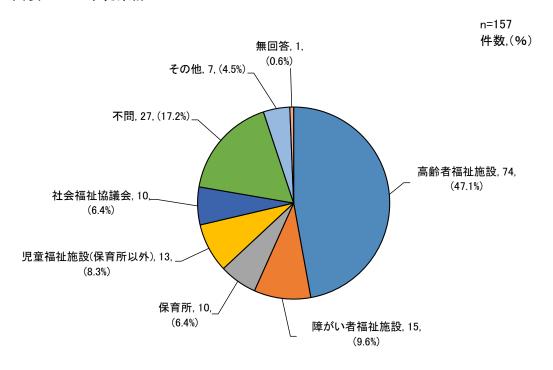
上段:度数 下段:%	合計	賃金・ 賞 与 額	勤務日数· 労働時間	休日・ 休暇日数	勤務時間 帯・曜日	福利厚生	通勤距離、 通勤の 便利さ	雇用形態 (正規職 員、パート 等)	社会保険加 入の有無	仕事の内容	自分が持つ 能力や資格 が活かせる こと	昇進の 見込み がある
合計	157	75	71	40	52	23	83	37	29	71	39	3
ны	100.0	47.8	45.2	25.5	33.1	14.6	52.9	23.6	18.5	45.2	24.8	1.9
20代以下	12	10	4	1	1	8	2	2	0	9	2	1
20105	100.0	83.3	33.3	8.3	8.3	66.7	16.7	16.7	0.0	75.0	16.7	8.3
30代	18	9	10	4	9	2	10	4	2	8	4	2
3017	100.0	50.0	55.6	22.2	50.0	11.1	55.6	22.2	11.1	44.4	22.2	11.1
40代	31	18	14	13	13	4	11	8	6	16	8	0
4010	100.0	58.1	45.2	41.9	41.9	12.9	35.5	25.8	19.4	51.6	25.8	0.0
F0/4	43	26	18	17	15	6	25	12	10	22	7	0
50代	100.0	60.5	41.9	39.5	34.9	14.0	58.1	27.9	23.3	51.2	16.3	0.0
CO/45	44	10	19	5	10	3	29	10	9	16	13	0
60代	100.0	22.7	43.2	11.4	22.7	6.8	65.9	22.7	20.5	36.4	29.5	0.0
70-51/1 L	9	2	6	0	4	0	6	1	2	0	5	0
70歳以上	100.0	22.2	66.7	0.0	44.4	0.0	66.7	11.1	22.2	0.0	55.6	0.0

上段:度数 下段:%	研修体制が 整備されてい る (資格や 技能を身に つけられる)	経営形態 (社会福祉 法人等)	法人や 事業所の 運営方針	安定性・ 将来性	経営者や 施設長の 人柄	法人や 事業所の規 模	新規に開設 される施設 ・事業所 であること	職場の 人間関係や 雰囲気	離職率	採用時の 選考方法	その他	無回答
合計	21	16	10	20	31	2	5	81	4	2	0	1
	13.4	10.2	6.4	12.7	19.7	1.3	3.2	51.6	2.5	1.3	0.0	0.6
20代以下	2	2	1	2	1	0	0	6	0	0	0	0
20105	16.7	16.7	8.3	16.7	8.3	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	2	1	0	2	3	0	0	12	0	0	0	1
3010	11.1	5.6	0.0	11.1	16.7	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	5.6
40代	3	3	2	5	3	0	1	19	0	0	0	0
1014	9.7	9.7	6.5	16.1	9.7	0.0	3.2	61.3	0.0	0.0	0.0	0.0
50代	6	2	3	4	8	1	1	20	2	0	0	0
3010	14.0	4.7	7.0	9.3	18.6	2.3	2.3	46.5	4.7	0.0	0.0	0.0
60代	8	6	4	6	13	1	3	23	2	1	0	0
6010	18.2	13.6	9.1	13.6	29.5	2.3	6.8	52.3	4.5	2.3	0.0	0.0
70歳以上	0	2	0	1	3	0	0	1	0	1	0	0
/ U成以上	0.0	22.2	0.0	11.1	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0

就職先を選ぶ上で「重視」することを年代別にみると、20代以下と50代では「賃金・賞与額」、30代と40代では「職場の人間関係や雰囲気」の、60代と70歳以上では、「通勤距離・通勤の便利さ」が最も割合が高くなっている。70歳以上では「勤務日数・労働時間」も同率で高くなっている。

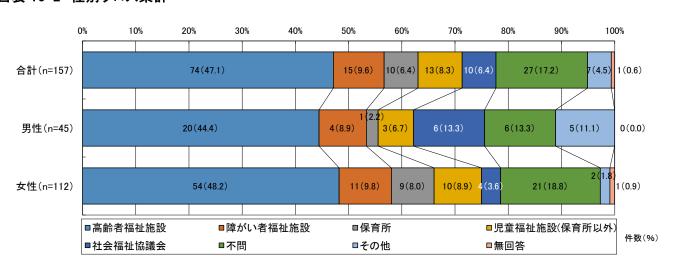
問 10 **あ**なたが最も希望する福祉職場の分野は?(〇は1つ)

図表 10-1 単純集計



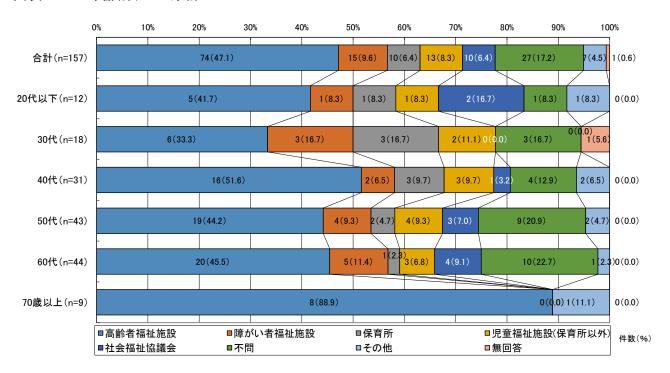
最も希望する福祉職場の分野については、「高齢者福祉施設」の割合が最も高かった。ついで「不問」、「障がい者福祉施設」の順であった。

図表 10-2 性別クロス集計



最も希望する福祉職場の分野を男女別にみると、男女ともに「高齢者福祉施設」の割合が高かった。

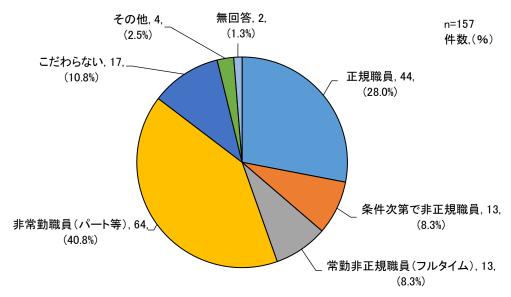
図表 10-3 年齢別クロス集計



最も希望する福祉職場の分野を年代別にみると、すべての年代で「高齢者福祉施設」の割合が高い。 20代以下では「社会福祉協議会」、30代では「障がい者福祉施設」、「保育所」を希望する割合も高い。

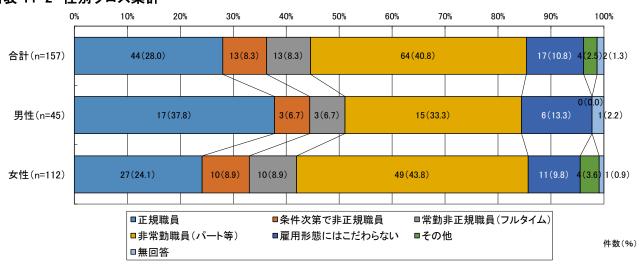
問 11 福祉の仕事をするうえで希望する雇用形態は?(〇は1つ)

図表 11-1 単純集計



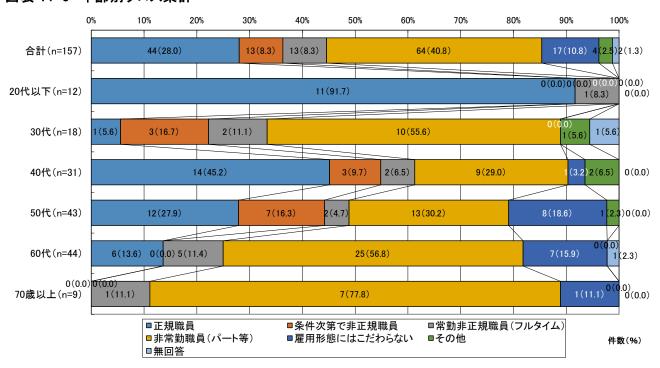
希望する雇用形態については「非常勤職員(パート等)」の割合が最も高かった。ついで「正規職員」、「こだわらない」となっている。なお、「条件次第で非正規職員」の条件の内容としては、「ボーナスなどの条件が一緒」、「社会保険加入、夜勤なし」などがあった。

図表 11-2 性別クロス集計



希望する雇用形態を男女別でみると、男性は「正規職員」を希望する割合が最も高く、女性は「非常勤職員(パート等)」を希望する割合が最も高かった。

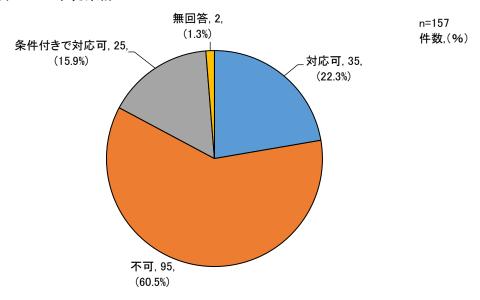
図表 11-3 年齢別クロス集計



希望する雇用形態を年代別でみると、20 代以下で「正規職員」を希望している割合が 91.7%と高く、他 の年代と大きな差がみられた。年齢が高くなるほど、「非常勤職員(パート等)」を希望する割合が高くなる 傾向がみられる。

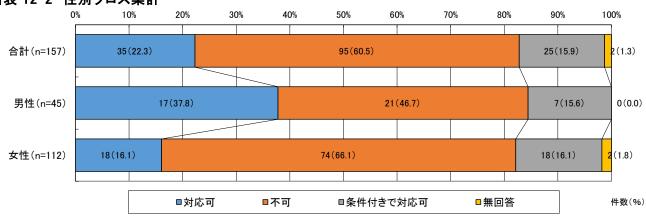
問 12 勤務形態に、夜勤·宿直がある場合の対応は?(Oは1つ)

図表 12-1 単純集計



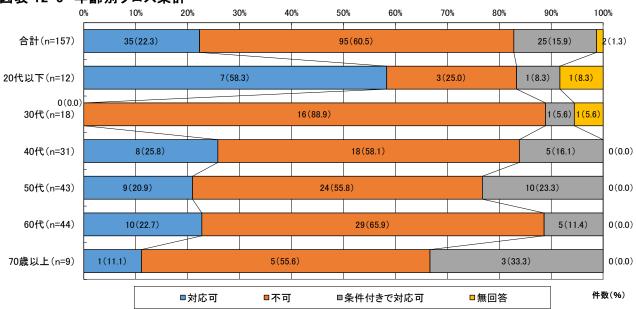
夜勤・宿直の対応については、6割以上が「不可」と回答した。なお、「条件付きで対応可」の条件としては、「毎日ではないこと」、「週に1回位」、「円滑なシフトの決定、曜日」、「一人夜勤でないこと」などがあった。





夜勤・宿直の対応について男女別にみると、男性に比べ女性で「不可」と答えている割合が高い。

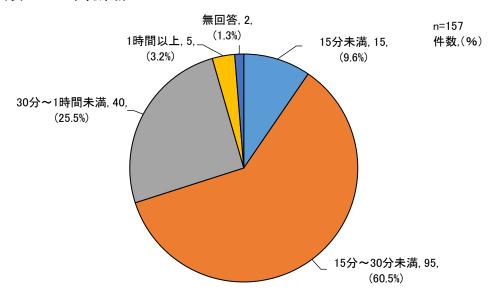
図表 12-3 年齢別クロス集計



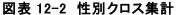
夜勤・宿直の対応について年代別にみると、「対応可」と答えている割合は 20 代で最も高く、30 代で最も低くなっている。

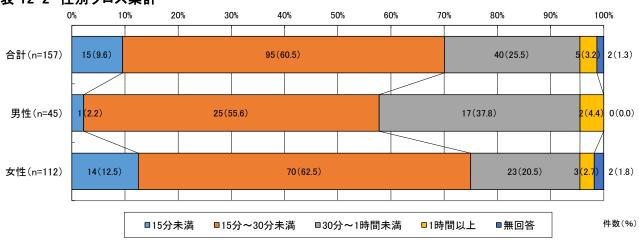
問 13 希望する(許容できる)通勤時間は?(Oは1つ)

図表 13-1 単純集計



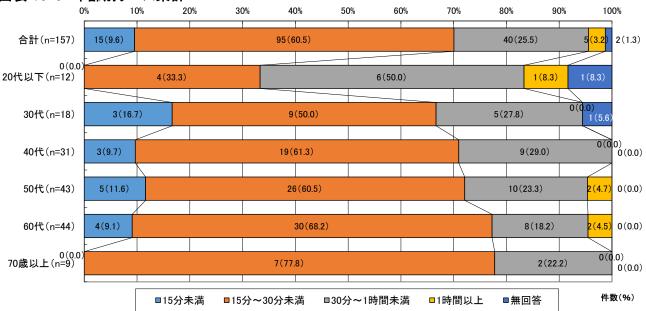
希望する(許容できる)通勤時間については「15分~30分未満」が6割以上を占めた。「30分~1時間未満」までの1時間以内を合わせると95.5%を占める。





希望する通勤時間を男女別でみると、男性に比べ女性の方がより短時間での通勤時間を希望している 割合が高い。

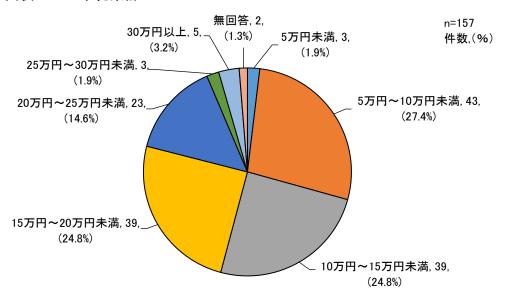
図表 13-3 年齢別クロス集計



希望する通勤時間を年代別でみると、20 代以下では「30 分~1 時間未満」の割合が最も高くなっているが、他の年代はすべて「15 分~30 分未満」の割合が最も高くなっている。30 分未満までの合計は年齢が高くなるほど割合が高くなっている。

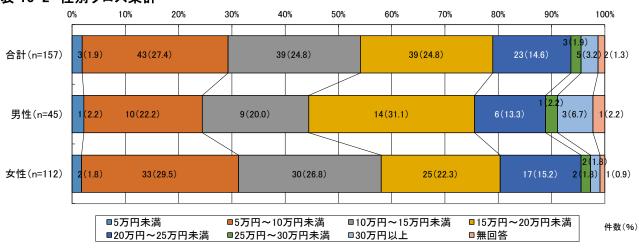
問 14 希望する賃金・月収<手取り>は?(Oは一つ)

図表 14-1 単純集計



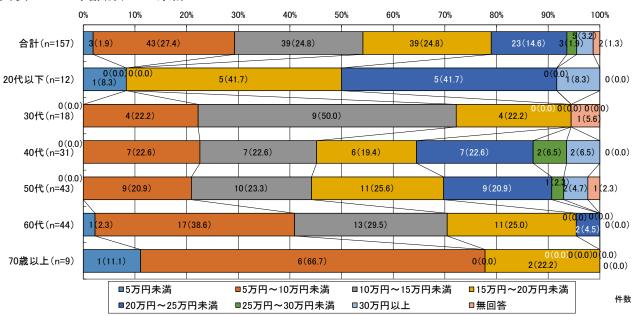
希望する賃金については「5万円~10万円未満」と答えた割合が最も高く、ついで同率で「10万円~15万円未満」と「15万円~20万円未満」、その次に「20万円~25万円未満」の順となった。

図表 13-2 性別クロス集計



希望する賃金について男女別にみると、女性に比べ男性の方が高い賃金を希望している割合が高い。

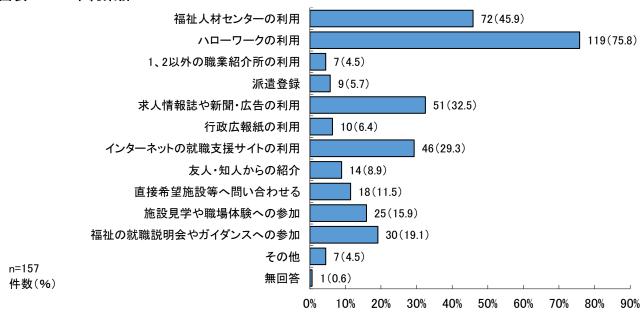
図表 14-3 年齢別クロス集計



希望する賃金について年代別にみると、20 代以下では、「15 万円~20 万円未満」と「20 万円~25 万円未満」、30 代では「10 万円~15 万円未満」の割合が最も高い。40 代 50 代は、5 万円~25 万円未満の間で均衡しており、60 代、70 歳以上では「5 万円~10 万円未満」の割合が最も高くなっている。

問 15 **どのような就職活動を行っているか?(〇はいくつでも)** 〈平成 30 年 4 月から現在までに行ったこと〉

図表 15-1 単純集計



就職活動の方法については、「ハローワークの利用」が 75.8%と最も割合が高く、ついで「福祉人材センターの利用」、「求人情報誌や新聞・広告の利用」、「インターネットの就職支援サイトの利用」の順となった。

図表 15-2 性別クロス集計〈最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■〉

上段:度数 下段:%	合計	福祉人材 センターの 利用	ハローワーク の利用	1、2以外の 職業紹介所 の利用	派遣登録	求人情報誌 や新聞・ 広告の利用	行政広報紙 の利用	インターネット の就職支援 サイトの利用	友人・知人 からの紹介	直接希望施設等へ問い合わせる
合計	157	72	119	7	9	51	10	46	14	18
	100.0	45.9	75.8	4.5	5.7	32.5	6.4	29.3	8.9	11.5
男性	45	18	36	1	2	8	3	12	5	6
ラ注 	100.0	40.0	80.0	2.2	4.4	17.8	6.7	26.7	11.1	13.3
女性	112	54	83	6	7	43	7	34	9	12
XII	100.0	48.2		5.4	6.3	38.4	6.3	30.4	8.0	10.7

上段:度数 下段:%	施設見学や 職場体験 への参加	福祉の就職 説明会や ガイダンス への参加	その他	無回答
合計	25	30	7	1
	15.9	19.1	4.5	0.6
男性	4	8	2	1
	8.9	17.8	4.4	2.2
女性	21	22	5	0
	18.8	19.6	4.5	0.0

就職活動の方法について男女別にみると、男女ともに「ハローワークの利用」の割合が最も高く、ついで「福祉人材センターの利用」となった。

図表 15-3 年齢別クロス集計〈最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■〉

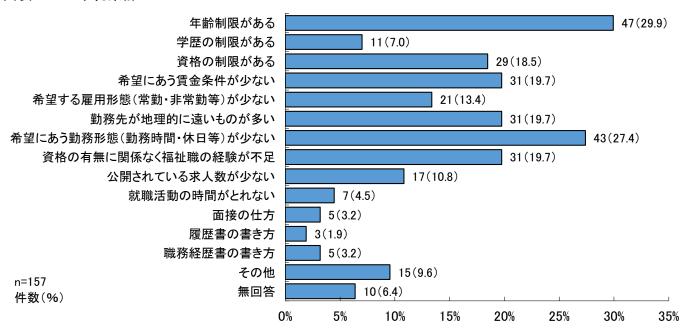
上段:度数 下段:%	合計	福祉人材 センターの 利用	ハローワーク の利用	1、2以外の 職業紹介所 の利用	派遣登録	求人情報誌 や新聞・ 広告の利用	行政広報紙 の利用	インターネット の就職支援 サイトの利用	友人・知人 からの紹介	直接希望 施設等へ 問い合わせる
合計	157	72	119	7	9	51	10	46	14	18
	100.0	45.9	75.8	4.5	5.7	32.5	6.4	29.3	8.9	11.5
20代以下	12	4	6	1	0	0	0	5	1	1
	100.0	33.3	50.0	8.3	0.0	0.0	0.0	41.7	8.3	8.3
30代 10	18	7	15	1	1	10	2	5	2	4
	100.0	38.9	83.3	5.6	5.6	55.6	11.1	27.8	11.1	22.2
40代	31	13	25	1	4	7	1	12	4	3
4016	100.0	41.9	80.6	3.2	12.9	22.6	3.2	38.7	12.9	9.7
50代	43	23	35	3	2	16	4	13	2	3
	100.0	53.5	81.4	7.0	4.7	37.2	9.3	30.2	4.7	7.0
60代	44	20	34	0	1	12	2	9	4	6
	100.0	45.5	77.3	0.0	2.3	27.3	4.5	20.5	9.1	13.6
70歳以上	9	5	4	1	1	6	1	2	1	1
	100.0	55.6	44.4	11.1	11.1	66.7	11.1	22.2	11.1	11.1

上段:度数下段:%	施設見学や 職場体験 への参加	福祉の就職 説明会や ガイダンス への参加	その他	無回答
合計	25	30	7	1
	15.9	19.1	4.5	0.6
20代以下	3	3	3	0
	25.0	25.0	25.0	0.0
30代	6	3	1	0
	33.3	16.7	5.6	0.0
40代	7	6	0	0
	22.6	19.4	0.0	0.0
50代	4	11	1	0
	9.3	25.6	2.3	0.0
60代	4	7	2	1
	9.1	15.9	4.5	2.3
フの歩いし	1	0	0	0
70歳以上	11.1	0.0	0.0	0.0

就職活動の方法について年代別にみると、70歳以上では「求人情報誌や新聞・広告の利用」の割合が最も高くなっているが、他の年代では「ハローワークの利用」の割合が最も高くなっている。2番目に割合が高いのは、40代以上では次に「福祉人材センターの利用」となっているが、20代では「インターネットの就職支援サイトの利用」、30代では「求人情報誌や新聞・広告の利用」となっている。

問 16 現在、就職活動を行うにあたり困っていることは?(Oは3つまで)

図表 16-1 単純集計



就職活動するうえで困っていることについては、「年齢制限がある」の割合が最も高く、ついで「希望にあう勤務形態(勤務時間・休日等)が少ない」となった。

図表 16-2 性別クロス集計〈最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■〉

					_,,				. —	
上段:度数 下段:%	合計	年齢制限 がある	学歴の制限がある	資格の制限 がある	希望にあう 賃金条件が 少ない	希望する 雇用形態 (常勤・非常 勤等) が少ない	勤務先が 地理的に 遠いものが 多い	希望にあう 勤務形態 (勤務時間・ 休日等) が少ない	資格の有無 に関係なく 福祉職の 経験が不足	公開されて いる求人数が 少ない
合計	157	47	11	29	31	21	31	43	31	17
	100.0	29.9	7.0	18.5	19.7	13.4	19.7	27.4	19.7	10.8
男性	45	16	3	10	12	1	8	5	9	6
ガ注	100.0	35.6	6.7	22.2	26.7	2.2	17.8	11.1	20.0	13.3
女性	112	31	8	19	19	20	23	38	22	11
XII	100.0	27.7	7.1	17.0	17.0	17.9	20.5	33.9	19.6	9.8

上段:度数 下段:%	就職活動の 時間が とれない	面接の仕方	履歴書の書き方	職務経歴書の書き方	その他	無回答
合計	7	5	3	5	15	10
口前	4.5	3.2	1.9	3.2	9.6	6.4
男性	2	2	0	1	5	4
	4.4	4.4	0.0	2.2	11.1	8.9
女性	5	3	3	4	10	6
又江	4.5	2.7	2.7	3.6	8.9	5.4

就職活動するうえで困っていることについて男女別にみると、男性は「年齢制限」と答えた割合が最も高く、女性は「希望にあう勤務形態(勤務時間・休日等)が少ない」と答えた割合が最も高かった。

図表 16-3 年齢別クロス集計〈最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■〉

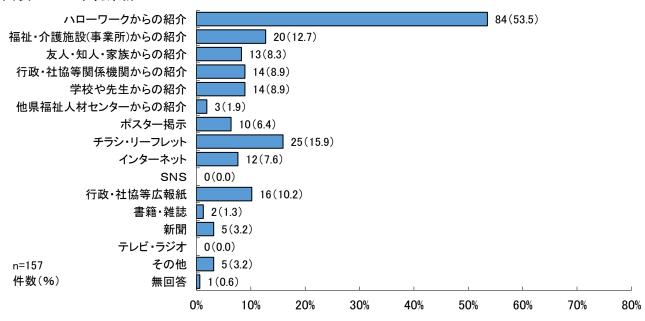
上段:度数 下段:%	合計	年齢制限がある	学歴の制限 がある	資格の制限 がある	希望にあう 賃金条件が 少ない	希望する 雇用形態 (常勤・非常 勤等) が少ない	勤務先が 地理的に 遠いものが 多い	希望にあう 勤務形態 (勤務時間・ 休日等) が少ない	資格の有無 に関係なく 福祉職の 経験が不足	公開されて いる求人数が 少ない	就職活動の 時間が とれない
合計	157	47	11	29	31	21	31	43	31	17	7
	100.0	29.9	7.0	18.5	19.7	13.4	19.7	27.4	19.7	10.8	4.5
20代以下	12	0	0	3	3	1	3	1	2	0	1
20100	100.0	0.0	0.0	25.0	25.0	8.3	25.0	8.3	16.7	0.0	8.3
30代	18	2	1	2	3	6	3	9	3	5	1
3014	100.0	11.1	5.6	11.1	16.7	33.3	16.7	50.0	16.7	27.8	5.6
40代	31	3	4	4	9	4	2	10	8	2	2
4010	100.0	9.7	12.9	12.9	29.0	12.9	6.5	32.3	25.8	6.5	6.5
50代	43	12	3	13	8	6	12	18	11	5	2
3017	100.0	27.9	7.0	30.2	18.6	14.0	27.9	41.9	25.6	11.6	4.7
CO/15	44	23	3	7	8	3	9	5	7	5	1
60代	100.0	52.3	6.8	15.9	18.2	6.8	20.5	11.4	15.9	11.4	2.3
70- 佐 以 L	9	7	0	0	0	1	2	0	0	0	0
70歳以上	100.0	77.8	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0

上段:度数 下段:%	面接の仕方	履歴書 の書き方	職務経歴書の書き方	その他	無回答
合計	5	3	5	15	10
	3.2	1.9	3.2	9.6	6.4
20代以下	2	1	0	3	2
2010以下	16.7	8.3	0.0	25.0	16.7
30代	0	0	2	2	1
3017	0.0	0.0	11.1	11.1	5.6
40代	1	1	1	1	3
4010	3.2	3.2	3.2	3.2	9.7
50代	2	1	1	4	0
3016	4.7	2.3	2.3	9.3	0.0
60代	0	0	1	4	3
0017	0.0	0.0	2.3	9.1	6.8
70歳以上	0	0	0	1	1
70成以上	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1

就職活動するうえで困っていることについて年代別にみると、30 代~50 代では、「希望にあう勤務形態 (勤務時間・休日等)が少ない」、60 代、70 歳以上で「年齢制限」と答えている割合が最も高かった。

問 17 福祉人材センターを知ったきっかけは?(主なもの3つに○)

図表 17-1 単純集計



福祉人材センターを知ったきっかけについては、「ハローワークからの紹介」の割合が最も高かった。

図表 17-2 性別クロス集計〈最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■〉

上段:度数 下段:%	合計	ハローワーク からの紹介	福祉・介護 施設(事業所) からの紹介	友人・知人・ 家族からの 紹介	行政・社協等 関係機関 からの紹介	学校や先生 からの紹介	他県福祉 人材センター からの紹介	ポスター掲示	チラシ・ リーフレット	インターネット	SNS
合計 -	157	84	20	13	14	14	3	10	25	12	0
	100.0	53.5	12.7	8.3	8.9	8.9	1.9	6.4	15.9	7.6	0.0
男性	45	26	6	2	5	2	2	2	7	3	0
労性	100.0	57.8	13.3	4.4	11.1	4.4	4.4	4.4	15.6	6.7	0.0
女性	112	58	14	11	9	12	1	8	18	9	0
女II主	100.0	51.8	12.5	9.8	8.0	10.7	0.9	7.1	16.1	8.0	0.0

上段:度数 下段:%	行政·社協等 広報紙	書籍·雑誌	新聞	テレビ・ラジオ	その他	無回答
合計	16	2	5	0	5	1
	10.2	1.3	3.2	0.0	3.2	0.6
男性	6	1	1	0	2	1
DIE	13.3	2.2	2.2	0.0	4.4	2.2
女性	10	1	4	0	3	0
XII	8.9	0.9	3.6	0.0	2.7	0.0

福祉人材センターを知ったきっかけについて男女別にみると、、男女とも「ハローワークからの紹介」の割合が最も高かった。

図表 17-3 年齢別クロス集計〈最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■〉

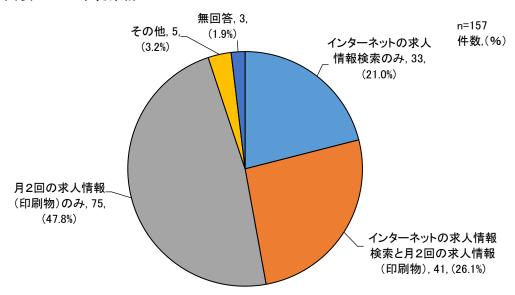
上段:度数 下段:%	合計	ハローワーク からの紹介	福祉・介護 施設(事業所) からの紹介	友人・知人・ 家族からの 紹介	行政・社協等 関係機関 からの紹介	学校や先生 からの紹介	他県福祉 人材センター からの紹介	ポスター掲示	チラシ・ リーフレット	インターネット	SNS
合計	157	84	20	13	14	14	3	10	25	12	0
HB1	100.0	53.5	12.7	8.3	8.9	8.9	1.9	6.4	15.9	7.6	0.0
20代以下	12	2	2	1	1	6	0	0	1	1	0
	100.0	16.7	16.7	8.3	8.3	50.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0
30代	18	7	3	3	2	2	1	3	4	2	0
3017	100.0	38.9	16.7	16.7	11.1	11.1	5.6	16.7	22.2	11.1	0.0
40代	31	19	4	3	1	3	0	4	4	6	0
4016	100.0	61.3	12.9	9.7	3.2	9.7	0.0	12.9	12.9	19.4	0.0
50代	43	26	7	1	4	3	2	0	7	2	0
5017	100.0	60.5	16.3	2.3	9.3	7.0	4.7	0.0	16.3	4.7	0.0
CO/#	44	29	4	3	3	0	0	2	7	1	0
60代	100.0	65.9	9.1	6.8	6.8	0.0	0.0	4.5	15.9	2.3	0.0
70歩N L	9	1	0	2	3	0	0	1	2	0	0
70歳以上	100.0	11.1	0.0	22.2	33.3	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0

上段:度数 下段:%	行政·社協等 広報紙	書籍·雑誌	新聞	テレビ・ラジオ	その他	無回答
合計	16	2	5	0	5	1
ны	10.2	1.3	3.2	0.0	3.2	0.6
20代以下	1	1	0	0	0	0
	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	3	0	0	0	0	0
3010	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	1	0	1	0	1	0
4014	3.2	0.0	3.2	0.0	3.2	0.0
50代	6	0	2	0	2	0
3010	14.0	0.0	4.7	0.0	4.7	0.0
60代	4	1	1	0	1	1
0010	9.1	2.3	2.3	0.0	2.3	2.3
70歳以上	1	0	1	0	1	0
70成以上	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0

福祉人材センターを知ったきっかけについて年代別にみると、20代以下では「学校や先生からの紹介」、70歳以上では「行政・社協等の関係機関からの紹介」の割合が最も高くなっているが、他の年代では「ハローワークからの紹介」の割合が最も高くなっている。

問 18 福祉人材センターにおける求人情報の取得方法について?(〇は1つ)

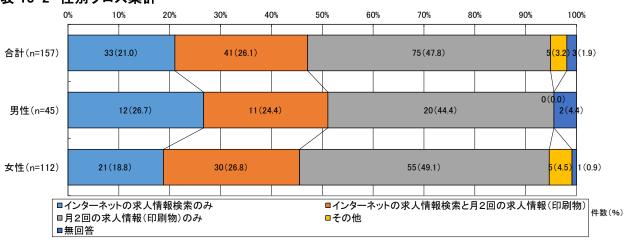
図表 18-1 単純集計



福祉人材センターにおける求人情報の取得方法について、「月 2 回の求人情報(印刷物)のみ」という割合が47.8%と最も高かった。

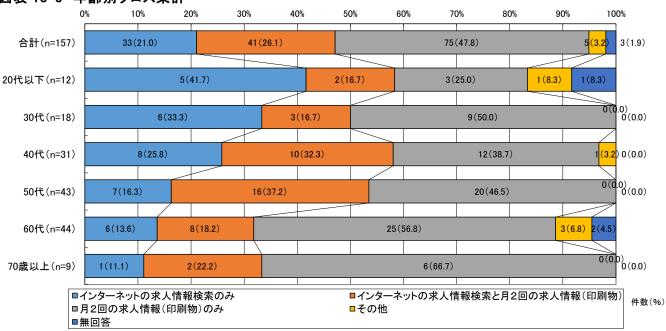
一方「インターネットの求人情報検索のみ」で取得している割合は約2割となっている。

図表 18-2 性別クロス集計



福祉人材センターにおける求人情報の取得方法について、男性は女性と比較して「インターネットの求人情報検索のみ」の割合が高くなっている。

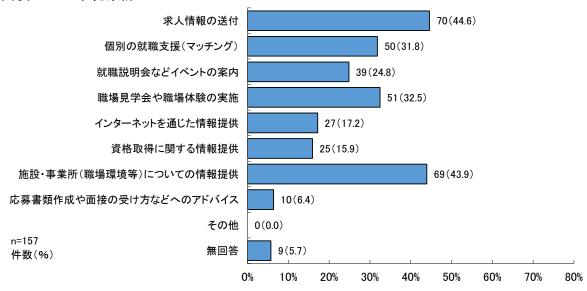
図表 18-3 年齢別クロス集計



福祉人材センターにおける求人情報の取得方法について年代別に見ると、併用も含めると50代以下ではインターネットが半数以上を占めている。一方で60代以上では印刷物による取得が半数を超えている。

問 19 福祉人材センターのサービスとして求めるものについて?(Oは3つまで)

図表 19-1 単純集計



福祉人材センターのサービスとして求めるものについては、「求人情報の送付」の割合が44.6%と最も高く、ついで「施設・事業所(職場環境等)についての情報提供」、「職場見学会や職場体験の実施」、「個別の就職支援(マッチング)」の順となった。

図表 19-2 性別クロス集計〈最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■〉

上段:度数下段:%	合計	求人情報の送付	個別の 就職支援 (マッチング)	就職説明会 などイベント の案内	職場見学会 や職場体験 の実施	インターネット を通じた 情報提供	資格取得に 関する 情報提供	施設・事業所 (職場環境 等)について の情報提供	応募書類 作成や面接の 受け方など へのアドバイス	その他	無回答
合計	157	70	50	39	51	27	25	69	10	0	9
	100.0	44.6	31.8	24.8	32.5	17.2	15.9	43.9	6.4	0.0	5.7
男性	45	19	18	15	14	9	8	12	0	0	3
- 5性	100.0	42.2	40.0	33.3	31.1	20.0	17.8	26.7	0.0	0.0	6.7
女性 -	112	51	32	24	37	18	17	57	10	0	6
女性	100.0	45.5	28.6	21.4	33.0	16.1	15.2	50.9	8.9	0.0	5.4

福祉人材センターのサービスとして求めるものについて男女別でみると、男性は「求人情報の送付」、「個別の就職支援(マッチング)」、「就職説明会などのイベントの案内」の順に割合が高く、女性は「施設・事業所(職場環境等)についての情報提供」、「求人情報の送付」、「職場見学会や職場体験の実施」の順に割合が高くなっている。女性は男性と比較して、働く職場を具体的に知ることができる項目を答えている割合が高くなっている。

図表 19-3 年齢別クロス集計〈最も割合が高い回答■、2番目に割合が高い回答■、3番目に割合が高い回答■〉

上段:度数 下段:%	合計	求人情報の送 付	個別の 就職支援 (マッチング)	就職説明会 などイベント の案内	職場見学会 や職場体験 の実施	インターネット を通じた 情報提供	資格取得に 関する 情報提供	施設・事業所 (職場環境等) について の情報提供	応募書類 作成や面接の 受け方など へのアドバイス	その他	無回答
合計	157	70	50	39	51	27	25	69	10	0	9
	100.0	44.6	31.8	24.8	32.5	17.2	15.9	43.9	6.4	0.0	5.7
20代以下	12	4	3	3	6	5	3	1	0	0	0
20104	100.0	33.3	25.0	25.0	50.0	41.7	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0
30代	18	6	7	6	8	4	2	7	5	0	1
3017	100.0	33.3	38.9	33.3	44.4	22.2	11.1	38.9	27.8	0.0	5.6
40代	31	13	14	10	9	4	4	16	2	0	3
4016	100.0	41.9	45.2	32.3	29.0	12.9	12.9	51.6	6.5	0.0	9.7
50代	43	23	11	9	15	7	8	25	2	0	0
3017	100.0	53.5	25.6	20.9	34.9	16.3	18.6	58.1	4.7	0.0	0.0
604	44	18	13	9	11	6	8	16	1	0	4
60代	100.0	40.9	29.5	20.5	25.0	13.6	18.2	36.4	2.3	0.0	9.1
フの歩いト	9	6	2	2	2	1	0	4	0	0	1
70歳以上	100.0	66.7	22.2	22.2	22.2	11.1	0.0	44.4	0.0	0.0	11.1

福祉人材センターのサービスとして求めるものについて年代別に見ると、20代、30代では「職場見学会や職場体験の実施」の割合が最も高く、40代、50代では「施設・事業所(職場環境等)についての情報提供」、60代、70歳以上では「求人情報の送付」の割合が最も高くなっている。

問20 福祉人材センターに対するご意見やご要望等についてご記入願います。

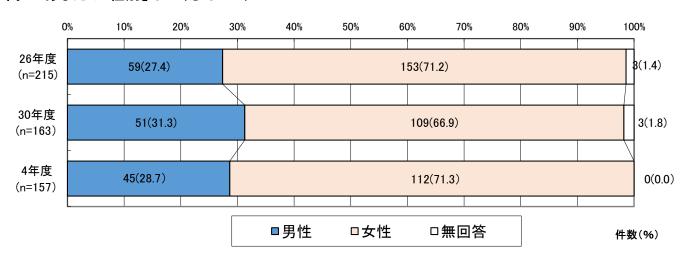
- ・ 就職難な日々、時間の無い中ハローワークにも出向いたりしている日がありますが、現在病 院勤務している毎日です。体調不良にならないよう頑張ります。〈男性・20代〉
- ・ 現在、産休のため求職はしていませんが、産後の働き方について相談出来る場や参考になる 事例を知りたいと思っています。失敗例も含め、勉強、相談会などの企画があれば落ちつい たらぜひ参加させて頂きたいと思っています。〈女性・30代〉
- ・ もっと登録期間を延長してほしい。始業時間と終業時間、勤務時間を求人に掲載してほしい。 〈女性・30代〉
- ・ 登録はとり消してもらったはずなのに、このように時々案内等が送付されてくるので、今後 はやめてほしいです。〈女性・30代〉
- ・ 大変お世話になり、現在の職場に就職することができました。本当にありがとうございました。〈女性・30代〉
- ・ 私は被災地での介護職員募集を基に今回の就職活動を行っていますが、こちらの募集が気づかれにくさがあるように感じ、とてももったいなさを感じています。私も一歩間違ったらこちらの募集に出会わず全く別の選択をしていたのではないかと思います。こちらの募集を利用することで被災地の介護施設での人員が潤い、応募者側も金銭的に援助を受けられ、両者にとって素晴らしい制度ですし、県外から福島への就職、移住の間口が大いに広がるキッカケになると思います。福島全域で介護職員は足りないことと思いますが、まずは"被災地での介護職"→"支援"もあることを大々的に宣伝、アピールされると関心・興味を持たれる方が増え、検討する側も視野に入れ考えやすくなると思います。どうぞ宜しくお願い致します。〈女性・40代〉
- ・ 今までは、老人ホームで調理師の仕事をしてきたので、配膳などで利用者の人達や、デイサービスの人達に喜んでもらえると嬉しくなったし、介護の仕事に興味を持ちました。相談会に初めて出席して、不安でしたが、センター職員に福祉の事を聞いたり、その後求人を送っていただいたり、見学に行ったり出来て助かっています。今は何とも言えませんが、求人票は送って頂けると良いなぁと思っています。お手数おかけしますが、よろしくお願いします。〈女性・40代〉
- ・ 皆、疲れきっており、なんでも言うことを聞くような人物をみつけては攻撃することでうさばらしをしている。そんな人達が多い。福祉の心とはなんなのか。もっとみんなが働きやすい環境をつくることもセンターの役割なのではないか。〈女性・40代〉
- ・ 職場見学会に参加した時の引率して頂いた福祉人材センターの方がとても親切だった。対応 も迅速で、この度就職先が決まりました。本当にありがとうございました。〈女性・40代〉
- ていねいに対応いただきありがとうございました。〈女性・40代〉
- 資格が有と無での賃金の差がない。有資格者の賃金をもっと上げるべき。〈男性・40代〉
- ・ 今後も活用していきたいと思っています。よろしくお願いします。〈男性・40代〉
- ・ 求人情報を送って頂き情報として大いに役立っています。有難うございます。〈女性・50代〉
- ・ 求人情報を送っていただき、ありがとうございました。〈女性・50代〉

- ・ 現在の職場を辞める勇気がなく、二の足を踏んでいますが、近々お世話になると思います。 よろしくお願い致します。施設・事業所についての情報が本当にほしいです。パソコンで施 設のパンフレット等が観覧できるとありがたいです。雰囲気がわかるような・・・。新設さ れる施設なんかも知りたいかも・・・。〈女性・50代〉
- ・ 求人情報の印刷物を送って頂いていましたが、福祉事業所の求人を希望していたので介護や保育施設も一緒に頂いていて、紙がもったいないと感じました。また、県北地区で探していたので、他の地区の分も同じく頂いていて、もったいないと感じました。登録時に印刷物の内容をもう少し分けて頂けるといいなと思いました。〈女性・50代〉
- ・ 求人情報の送付をいつもありがとうございました。いわき在住ですが、いわきの求人がとて も少なく残念でした。〈女性・50代〉
- ・ センターには特に要望はありません。ただ福祉においては高齢者、幼児等有資格者には賃金 面でもう少し優遇されれば就労者が増えて、休日・シフト面でも働きやすくなると思います。 企業でも利益がでれば社員に還元されます。福祉で利益となるとまた難しい問題ではあると 思いますが、どうか現場で働く方々がやりがいと賃金として受け取れます様願います。 〈女性・50代〉
- ・ 同封の就職活動ハンドブックを見ました。就職活動をするにあたって、面接の時の雇用側の 目的を見まして、今まで頭の中で考えていた事と内容が少し変わっていたので、これからの 就職活動にいかしていきたいと思いました。〈女性・50代〉
- 就職した後の悩み相談(フォロー)等。〈女性・50代〉
- ・ 仕事したくても今いる所だと雇ってくれる所がない。車の免許とか差別とかされて。介護したくても出来ないし。他の仕事してても人間関係でいろいろあって悩んでいます。 〈男性・50代〉
- ・ 本人が希望する職種、分野をもっと細分化した上で支援し、ピンポイントで要望に対応できるような体制を整えていただきたい。〈男性・50代〉
- ・ 何度も資料等お送り頂きありがとうございました。60代でも高齢者施設で何らかのお役に立てるのかと介護初任者研修を受講しましたが、現在親の介護が始まってしまいました。 〈女性・60代〉
- ・ 今回、初めてのセミナー参加でした。実際に転職された方の映像もあり、分かりやすかったです。〈女性・60代〉
- ・ 非正規の求人がもっとあれば良かった。〈女性・60代〉
- ・ ますます必要な仕事なのに、施設や事業所の就労条件が良くない印象です。誰でもいい!訳ではないので、適性のある人材を支援し、育てていけたらいいですね。〈女性・60代〉
- ・ 求人情報はほとんどが 60 歳~64 歳までで、見ていても 65 歳を過ぎた私としては、はねつけられた気持ちになりました。希望としては 65 歳以上の福祉関係の求人を別にあったら助かるし、新たに介護の分野を選ぼうとする人がでてくるのではと思います。〈女性・60 代〉
- インターネットの情報など充実していると思いました。とても参考になりました。 〈女性・60代〉
- ・ 福祉の職場で働く人を対象に研修を開いてほしい。〈女性・60代〉
- ・ 労働条件が厳しく、シニアには就労が困難な面があり、詳しい資料の提示。就労先の条件に 詳しい情報のアナウンス。〈女性・60代〉

- ・ インターネットの求人検索でたまたま自分がやりたい仕事と出会うことができました。福祉 の仕事に就きたいと思っている人にとっては、とてもありがたい紹介の場であると感じます。 〈女性・60代〉
- 人材センターにはいつも仕事について相談にのっていただき、ありがたく思っています。 〈女性・60代〉
- ・ 電話での応対がとても親切で、最後まで一緒に仕事をさがして頂き、感謝の気持ちで一杯で した。〈女性・60代〉
- ・ 実務者研修等資格取得の為、情報が欲しい。〈男性・60代〉
- ・ ハローワークからの紹介で福祉の仕事セミナーを受講したが、福祉の仕事全体を良く知ることができた。私は求職中で受講したが、地区の回覧等を利用して広報すれば転職を考えている人の有効な参考情報になると思いました。〈男性・60代〉
- ・ 求人情報(印刷物)はたいへんありがたいです。〈男性・60代〉
- ・ 一番助けになったのは、条件のマッチングデータではなく「人材センター」の方々に支えられている、という心理的な面が大きかったです。就職は、最初の事業所(老人介護施設)は求人枠はなくなっていたのですが、同所の内部で別の事業所に話をしてもらい、決定した経緯でした。その時ハローワークや人材センターの登録には無かった情報でしたので、自分勝手に(ハローワーク、人材センターと話をしないで)動いて良いのかちょっと迷いました。結果、どんどん動いていい・・・という事だったのですが、皆さんにもっと伝わったら良いと思います。〈男性・60代〉
- ・ 支援分野だと、欠員補充程度の機会しかなく、また実務上「・・・初任者研修」済みだと比較的安心して働ける感じがします。なので、「・・初任者研修」の1つ手前の講習があった方が良いと思います。例えば運転手にしても施設管理でも目の前に施設利用者がいた場合は、ただ見ているだけではすまないと思います。しかし現状では手が出せないので、本格的な介護に至らない程度の「お手伝い」ができる講習や資格を設定してもらった方が門戸が広がると思います。〈男性・60代〉
- ・ おかげ様でハローワークにて良い就職先が見つかり、5月初旬より働かせて頂いております。 認知症対応のユニット型グループホームですが、ホーム長もとても良い方で、お会いすると いつも満面の笑顔で挨拶や言葉を掛けて下さいます。職員同志の関係にも苦労する事無く、 精一杯努めて行きたいと考えております。〈女性・70歳以上〉
- ・ 求人情報での直接問い合わせをして下さり、現在働いている所は福祉人材センターの紹介で す。見習いを経てからケアマネ業務と介護を同時にやっていきます。〈女性・70歳以上〉
- ・ 高齢者就労(80歳以上)の就労可能な職場がありましたら、よろしくお願い致します。パート、4~5時間(AM9:00~PM1:00又は2:00)土日祝祭日休日希望。〈男性・70歳以上〉

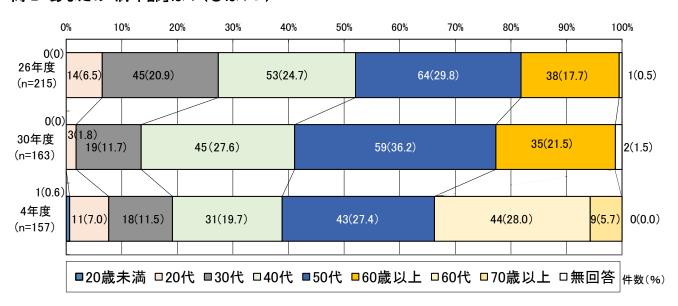
IV 過去の調査との比較結果

問 1 あなたの「性別」は?(Oは1つ)



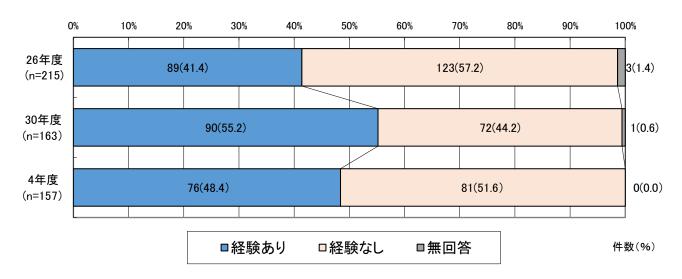
対象者の男女の比率についてはどの調査でも女性の方が多く、約7割程度となっている。

問 2 あなたの「満年齢」は?(Oは1つ)



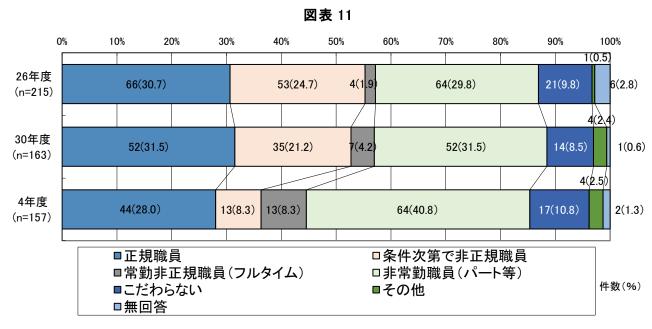
対象者の年齢構成については、30 年度と比較して 20 代以下の割合が増えているが、全体としては 60 代以上の割合が増えている傾向がみられる。

問5 福祉分野における勤務経験は?(〇は1つ)



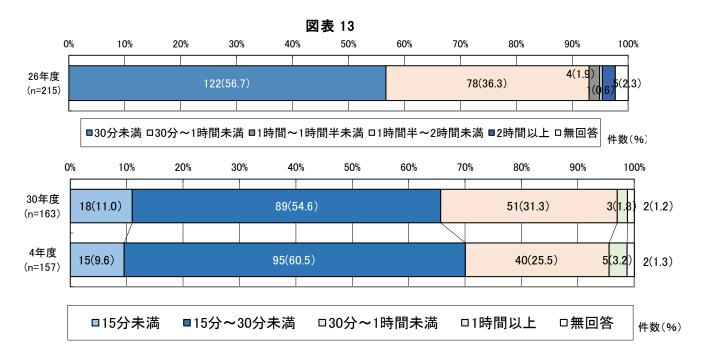
福祉分野における勤務経験を比較すると、30年度と比較して、「経験あり」と答えた割合が減少している。

問 11 福祉の仕事をするうえで希望する雇用形態は?(〇は1つ)

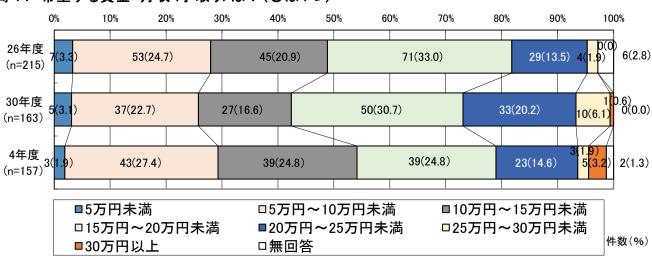


希望する雇用形態を比較してみると、「非常勤職員(パート等)」を希望する割合が大きく増えている。

問 13 希望する(許容できる) 通勤時間は?(Oは1つ)



短時間での通勤希望者が増えており、30 年度調査から 15 分未満も回答に加えた。30 分未満の通勤時間を希望する割合が増え 7 割となっている。



問 14 希望する賃金・月収〈手取り〉は?(〇は1つ)

希望する賃金・月収については、「5万円~10万円未満」、「10万円~15万円未満」を希望する求職者が増えている。一方、「20万円~25万円未満」、「25万円~30万円未満」を希望する求職者の割合は減少した。

V 令和4度「福祉職場への就職希望者意向調査」調査票

調査実施:社会福祉法人福島県社会福祉協議会(福祉人材センター)

◆調査へのご協力のお願いと記入方法及び返送方法

この調査は、福祉人材センター職業紹介業務の参考データの収集を目的としています。調査票は無記名で統計処理しますので、回答いただいた方のお名前が明らかになることはなく、回答内容が外部に洩れることもありません。また、回答結果が直接職業紹介に影響することもありませんので、ありのまま回答願います。回答は、**令和4年12月1日現在**の状況について、各質問の当てはまる選択肢の番号に〇印を付けてください。また、その他を選んだ場合は()内に具体的に記入願います。

回答した調査票は同封した返信用封筒に入れ、令和4年12月28日(水)まで返送願います。

- 間1 あなたの「性別」(性自認) は?(○は1つ)
 - 1 男性 2 女性
- 問2 あなたの「満年齢」は?(令和4年12月1日現在/○は1つ)
 - 1 20 歳未満 2 20 歳代 3 30 歳代 4 40 歳代 5 50 歳代 6 60 歳代 7 70 歳以上
- 問3 あなたが現在住んでいる「地域」は?(○は1つ)
 - 1 県北 2 県中 3 県南 4 会津 5 相双 6 いわき 7 県外
- 問4 あなたの現在の就労状況は?(○は1つ)
 - 1 福祉の職場に勤務(正規職員)
 - 2 福祉の職場に勤務(非正規職員 フルタイム) 3 福祉の職場に勤務(非正規職員 パートタイム)
 - 4 福祉以外の職場に勤務 5 就労していない (無職)
- 問5 福祉分野における勤務経験は?(○は1つ)
 - 1 あり 2 なし
- 問6 求職活動をしている(いた)理由は?(○は3つまで)
 - 1 雇用・契約期間満了 2 子育てが一段落した 3 介護が一段落した 4 仕事内容が不満
 - 5 職場の人間関係が不満 6 労働条件(給与・待遇含む)が不満 7 仕事が自分の適性に合わない
 - **8** I ターン※1 · Uターン※2 **9** 早期退職 **10** 解雇(倒産・事業所閉鎖等による)
 - 11 その他(
 - ※1 Iターン:出身地とは別の地方に移り住み就職すること
- 問7 福祉の仕事への興味はどの程度あるか? (当てはまる番号に○)



	生きがい・社会参加となる 2 やりがいのある仕事である 3 人や社会に役立つ仕事がした	()
7	知識・技能を身につけたい 5 これからの時代に必要な仕事である 6 仕事に将来性がある 労働環境(勤務時間や休日等)に魅力がある 8 資格・技能を生かせる 9 自分に適した仕事 家計を維持するため 11 給与(賃金)や労働条件がよい 12 他によい仕事がなかった	である
13)
< 5	就職先を選ぶ上で「重視」することは?(1~22のうち○は5つまで) 労働条件について> 賃金・賞与額 2 勤務日数・労働時間 3 休日・休暇日数 4 勤務時間帯・曜日 5 福	刮匣丛
6 <1	通勤距離、通勤の便利さ 7 雇用形態(正規職員、パート等) 8 社会保険加入の有無 仕事について>	'IJ 子 '工
12	仕事の内容 10 自分が持つ能力や資格が活かせる 11 昇進の見込みがある 研修体制が整備されている(資格や技能を身につけられる) 動め先について>	
16 19	経営形態(社会福祉法人等) 14 法人や事業所の運営方針 15 安定性・将来性経営者や施設長の人柄 17 法人や事業所の規模 18 新規に開設される施設・事業所であること職場の人間関係や雰囲気 20 離職率 21 採用時の選考方法 その他(.
1	あなたが最も希望する福祉職場の分野は?(○は1つ) 高齢者福祉施設 2 障がい者福祉施設 3 保育所 4 児童福祉施設 (保育所以外) 社会福祉協議会 6 不問 7 その他()
1	福祉の仕事をする上で希望する雇用形態は?(○は1つ) 正規職員を希望 第一希望は正規職員であるが、条件によっては非正規職員でもよい (※条件:)
	常勤の非正規職員 (フルタイム) を希望 4 非常勤職員 (パートタイム) を希望 雇用形態にはこだわらない 6 その他 ()
	! 勤務形態に、夜勤・宿直がある場合の対応は? (○は1つ) 夜勤・宿直も対応可 2 夜勤・宿直は不可 3 条件付きで対応可 (※条件:	Š
	6 希望する(許容できる)通勤時間は?(○は1つ) 15分未満 2 15分~30分未満 3 30分~1時間未満 4 1時間以上	
1	希望する賃金・月収〈手取り〉は?(○は1つ) 5万円未満 2 5万円~10万円未満 3 10万円~15万円未満 4 15万円~20万円未満 20万円~25万円未満 6 25万円~30万円未満 7 30万円以上	

問8 福祉分野での就職に関心を持った理由は?(○は3つまで)

1	どのような就職活動を行っているか? (○はいくつでも) 〈令和4年4月から現在までに行ったこと〉 福祉人材センターの利用 2 ハローワークの利用 3 1、2以外の職業紹介所の利用 派遣登録 5 求人情報誌や新聞・広告の利用 6 行政広報紙の利用
10	7/ターネットの就職支援サイトの利用 8 友人・知人からの紹介 9 直接希望施設等へ問い合わせる施設見学や職場体験への参加 11 福祉の就職説明会やガイダンスへの参加 その他(
1 5 7 9	現在、就職活動を行うにあたり困っていることは? (○は3つまで) 年齢制限がある 2 学歴の制限がある 3 資格の制限がある 4 希望にあう賃金条件が少ない 希望する雇用形態(常勤・非常勤等)が少ない 6 勤務先が地理的に遠いものが多い 希望にあう勤務形態(勤務時間・休日等)が少ない 8 資格の有無に関係なく福祉職の経験が不足公開されている求人数が少ない 10 就職活動の時間がとれない 11 面接の仕方 履歴書の書き方 13 職務経歴書の書き方 14 その他(
1 4 7 11	福祉人材センターを知ったきっかけは? (○は3つまで) ハローワークからの紹介 2 福祉・介護施設(事業所)からの紹介 3 友人・知人・家族からの紹介 行政・社協等関係機関からの紹介 5 学校や先生からの紹介 6 他県福祉人材センターからの紹介 ポスター掲示 8 チラシ・リーフレット 9 インターネット 10 SNS 行政・社協等広報紙 12 書籍・雑誌 13 新聞 14 テレビ・ラジオ その他(
1 2	福祉人材センターにおける求人情報の取得方法は?(○は1つ) インターネットの求人情報検索のみ利用 インターネットの求人情報検索と月2回の求人情報(印刷物)を利用 月2回の求人情報(印刷物)のみを利用 4 その他()
1 4 7	福祉人材センターのサービスとして求めるものは? (○は3つまで) 求人情報の送付 2 個別の就職支援 (マッチング) 3 就職説明会などイベントの案内職場見学会や職場体験の実施 5 インターネットを通じた情報提供 6 資格取得に関する情報提供施設・事業所 (職場環境等) についての情報提供 8 応募書類作成や面接の受け方などへのアドバイスその他(具体的に:
問 20	福祉人材センターに対するご意見やご要望等についてご記入願います。

令和4年度

福祉職場への就職希望者意向調査

報告書

発 行:令和5年3月

発行者: 社会福祉法人福島県社会福祉協議会

福島県福祉人材センター

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111

(福島県総合社会福祉センター内)

電話 024-521-5662 Fax 024-521-5663 http://www.fukushimakenshakyo.or.jp

E-mail:jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp

集計:タカラ印刷株式会社

〒960-8141 福島市渡利字絵馬平86-9 電話 024-526-4303 Fax 024-526-4302